

～ 誰もが 生きていてよかった といえる街をつくりたい ～



2023年
No. 231



ご利用者に適切な支援を届ける

理事長 若林 重一

私たち福祉に携わる職員にとって大切なことはご利用いただく方に適切な支援を届けることだと考えています。さて、適切な支援とは。

- 支援を必要とする人の特性を見極めていること。
- 支援の内容が当事者に見合ったものであり困りごとを軽減できること。
- 支援の量が過小・過大でないこと。
- 常に人格を尊重した職員の行動・言葉がけがあること。
- ご本人の生活の質を高めることに繋がっていること。

ではないでしょうか。その際、注意しなければならないことは、支援者が勝手な思い込みで一方的な支援を行うことは、本来あるべき支援の姿とは大きくかけ離れる結果となるでしょう。障害の種類・障害の程度・個人の特性もそれぞれ異なるため支援の内容も必然的に変わることを忘れてはなりません。

ここで、童謡詩人の金子みすゞの詩「私と小鳥と鈴と」をご紹介しますと思います。この詩の最終章に

鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがって、みんないい

という一節があります。金子みすゞは私たちに何を伝えようとしたのでしょうか。あなたはこの詩をどのように捉えますか。



ぽぽハウス法人研修 車いす体験

「この世にあるものは、誰一人、なに一つ、同じものではなく、だからこそみんなすばらしい。」言い換えれば、「違うからこそ大切」ということでしょう。

私たち法人には、ご利用いただく方の個性・特性を認め合い、それぞれの方にあった適切な支援を提供することが求められています。

当法人では“利用者の権利擁護と虐待防止を推進し健全な福祉サービスを提供するための対応規程”を策定しています。この規程は、当法人の職員がご利用いただく方々に不適切な対応を行った場合は、職員本人

やその事実を見かけた職員は報告しなければならないこととしています。報告書では、その原因や防止対策を記載することとしており法人内部で共有し、再発防止に役立てようとするものです。併せて、定期的に研修を行うことを法人自らに課しています。

私たち法人職員は「利他の心」をもってご利用いただく皆様に接していくことを今まで以上に心がけ、ぽぽハウスに来てよかったと言っていただけよう努めてまいります。

掲載内容

P2 高齢デイサービス P3 ほのぼの P4 あったかルーム P5 街かどアート展実行委員会 P6 はばたき
P7 きらめき P8 ぽぽハウス P9 ぽぽ相談室／法人研修／避難訓練
P10～11 子ども子育て支援室／たんぽぽひろば P12 求人案内／寄付のお願い／寄付のお礼／お知らせ

求人案内

【正職員】

- ◎介護職員
- ◎指導員
- ◎障害児・者相談員

※詳しくは
ハローワークの
求人票を
ご覧下さい。

【パート】シフト制

- ◎介護職員
- ◎指導員
- ◎障害児・者相談員

寄付のお願い

“ぽぽハウス”は、認定 NPO 法人のため寄付金に対する税制上の優遇措置が受けられる団体となっております。ぜひ、私たちの活動にご支援ください。

- ◎ 振込先 ゆうちょ銀行
- ◎ 口座名義 特定非営利活動法人 NPO ぽぽハウス
- ◎ 口座記号 00980-4
- ◎ 口座番号 130131

寄付を頂きました。心より感謝申し上げます(敬称略)

事業所：佐和山民児協、有限会社 平和産業、彦根ライオンズクラブ

個人：山脇吟子 様、K.M 様、K.H 様、H.T 様 他匿名4名

お知らせ

寄付金で除雪機を購入させていただきました。

機種：YANMAR 中型除雪機ミドルタイプ
JM-1390A VIEL
購入価格：957,000 円(税込み)
2022 年度寄付金総額：1,015,352 円
大切に使用させていただきます。



当法人は、高齢者通所サービスや放課後等デイサービスなどの事業を行っており、車いすを必要とされる利用者の方も増えてきています。そこで、2023 年度公益財団法人ダイトロン福祉財団の障害者福祉助成に福祉車両を申し込み、採択いただきました。11 月に車いすのまま乗降できる新たな車両が納入され、送迎に活用していきます。



＜ 本誌内容に関するお問い合わせ ＞

認定特定非営利活動法人 NPO ぽぽハウス

住所：〒522-0041 彦根市平田町 107-11 (法人事務局)
TEL：(0749)27-9777 mail: popohouse@nifty.com
FAX：(0749)27-9888 HP: http://www.popo-house.jp

Instagram



Facebook



しが介護職員定着等推進事業者



相談支援グループ

- ◎ぽぽ相談室(障害児者相談支援)
- ◎子ども子育て支援室
彦根市地域子育て支援センター
「まんまるひろば」

高齢サービスグループ

- ◎ぽぽハウス(高齢者デイサービス)
- ◎ほのぼの(通所型サービス A)
- ◎あったかルーム(宅老)

障害サービスグループ

- ◎はばたき・きらめき・ぽぽハウス
- ・児童発達支援
- ・放課後等デイサービス
- ・日中一時支援

※認定特定非営利活動法人 NPO ぽぽハウスは、「認定 NPO 法人 しが NPO センター」・「認定 NPO 法人 街かどケアしがネット」の会員です。

子ども子育て支援室

子ども子育て支援室って何をしているところ？

彦根市の地域子育て支援事業を受託し、「まんまるひろば」を運営しています。

彦根市地域子育て支援センター 「まんまるひろば」

場所：ビバシティ彦根 2 階 開所時間：平日 10:00～16:00

就学前の親子さんの交流や育児相談、情報提供などを行っています。

毎日のおはなしタイムでは、手遊びや紙芝居をし、親子でふれあえる時間を提供したり、定期的に子育て講座なども開催しています。



子育て支援室 2023 年度は・・・

コロナ禍の影響も少しずつ緩み、ママたちにも明るさや積極性が増してきたこの頃「にこにこ（～6ヶ月）」「ごきげん（6ヶ月～1歳）」「とことこ（1歳）」「げんき（2歳）」の4つの集いは出会いと遊びの格好の場となりました。フリートークも和気あいあい、自主的にひろばに集まる集団も生まれました。同じ月齢の子ども達と一緒に活動することで良い刺激となり喜ばれています。



◆2023 年度子育て講座のご紹介◆

4 月「梨園探検とおべんとう」

“彦根で育つ”ということに重きを置いた講座を 2021 年から実施しています。今年も彦根梨の農園にご協力をいただいて実施しました。参加された親子は初めて見る梨の花や木に興味津々。梨園を探検した後は満開の梨の花の下でお弁当を食べます。たくさんの親子に彦根を知ってもらいたいと考えて企画しており、今後も増やしていく予定です。



6 月「出張！ふたごちゃんの会」

ふたごちゃんの保護者が同じような状況の方と繋がりたいという希望が多く、彦根駅周辺で開催。当日は子育て応援団体 Hot Hot～ほどほど～が双子用のリユース服を持ってきてくださいました。緊張気味だった保護者達も服を選びながら自然と会話ができるようになり、保護者同士が繋がるきっかけとなりました。



7 月からは「出張ひろば！」を開始

ビバシティ彦根の改装に伴い、まんまるひろばが仮スペースに移転となり、以前の半分以下の広さになった機会に、南地区公民館やプロシードアリーナ HIKONE をお借りして、広い場所で体を動かしのびのび遊べる場所を提供しました。

ふだん頻繁にひろばを利用されていない親子にも来ていただけるよう、今後もこのような場を提供していきます。



8 月「みんなであそぼう！」

地域子育て支援センターの対象は就学前の親子で、夏休みに小学生の兄弟がいる家庭は利用していただけないため、夏休み企画として『彦根おやこ劇場』さんとのコラボで開催しました。ハイハイの子どもから小学生が家族で楽しく体を動かして遊ぶことができ、普段は経験できない特別な体験となりました。



10 月「田んぼであそぼう！」

彦根の風景と体験を目に胸に焼き付け、愛着をもってもらいたいと考えて去年から実施しています。自然がたくさんある田んぼで、平らでない足場を歩く、秋風にあたる、生き物や植物とふれあうなど、五感の育みを実感していただいています。

11 月「プレママ・パパ集合！」開催。

子育て支援センターを出産前から知ってもらい、スタッフや先輩ママ・パパと交流しながら不安を解消してもらおうという講座です。その他にも子育て支援に繋がる講座をたくさん企画しています。

今後も・・・

■コロナ禍で縮こまった心と体を開放させて親も子も遊べる外遊びを増やす

■ひろばが媒体となって、地域とのつながりを深めていく

■ママ同士の交流の機会を増やし、深める仲介役となる

これらについて一層尽力していきたいと考えています。



ビバシティ彦根のリニューアルオープンに伴い、10 月 27 日（金）にまんまるひろばも移転オープンしました！お近くにいられた際には是非お立ち寄りください。

場 所：ビバシティ彦根 2 階

時 間：10 時～16 時

定休日：土日・祝日・年末年始・ビバシティ店休日



たんぽぽ ひろば ～親子でゆったりのにびりすごしませんか～

「子育てについてちょっと話を聞いて欲しいなあ～」「育児について悩んでいるけど、話をできるところがないかなあ？」「なんだか上手く伝えられないけど不安に感じる事があって・・・」「おおきなひろばへの参加はちょっと苦手・・・」そんな思いをお持ちのみなさま～ん！たんぽぽひろばは、子育てや育児への不安や悩みごとなどについてお話できるように、保育士等の専門知識を持ったスタッフを配置し、気楽に集って頂けるように遊具を準備して下記の日程で開催しています。

お母さんはスタッフと気軽にお話、子どもたちは楽しく遊んで過ごしましょう！

たんぽぽひろばへ 一度いらっしやいませんか？

対 象：おおむね 6 ヶ月～3 歳のお子さんとその保護者

日 時：12/7(木).12/13(水).1/10(水).1/18(木).1/24(水).2/1(木).2/7(水).2/15(木).2/21(水)
いずれも 10:30～12:00

場 所：はばたき 1F（ナビ検索 彦根市平田町 107-11） Tel.0749-27-2788 popohouse@nifty.com



高齢デイサービス

高齢デイサービスでは、要介護状態にある方を対象に、入浴や排せつ、食事や機能訓練等のサービスを提供しています。そのなかで私たちが大切にしているのは、介護が必要になっても、利用者一人ひとりの個性を大切にいつまでも自分らしくいきいきと過ごせるように支援することです。

その人の個性とは？その人らしさとは？

一人ひとりの利用者をよく知ることがより良い支援への近道です。私達は利用者とはよく対話をします。時に冗談まじりで大笑いすることも♪お話を通じて個々に応じた活動が生まれました。「趣味の編み物や生け花を続けたい」「パソコンに挑戦したい」「たくさん体を動かしたい」「家では調理できないからここでお手伝いがしたいな♪」「のんびりおしゃべりを楽しみたい」利用者は色々な楽しみ方をされています。ボランティアさんや職員と楽しく活動されている光景は、まるでみんなが家族のように感じられ、心地よい居場所になっています。単に介護を提供するというのではなく、人と人とのつながりを大切にすることが高齢デイサービスの良さだと感じています。



法人内の世代交流が増えています♪

以前は当たり前だった法人内の交流も、コロナ禍では希薄になっていました。今年は少しずつ交流の機会を持てるよう職員が意識して取り組んでいます。利用児とのふれあいコンサートでは、一緒に音楽を楽しんだり、利用児がタオル干しのお手伝い作業に来てくれ一緒に活動しています。お互いに助け合い、支えあう経験により、思いやる心が芽生えるきっかけになっています。



地域とのつながりを大切に

今年7月に実施した水害避難訓練では、平田町にお住まいの地域の方々にご参加くださいました。これを機に話し合いの場をもたせていただくなど、地域とのつながりができていることを感じています。地域密着型通所介護として、地域の課題にも目を向けたデイサービスでありたいと思います。



介護事業所という枠を超えて

11月から(毎月1, 2回)ビバシティ彦根1階 センタープラザで、職員が地域の方を対象に『ぽぽいきいき広場』を開催しています。

平和堂の高齢、健康、子育ての3つの柱を軸にした地域共創への想いは、私達ぽぽハウスの想いと重なるが多く、この活動を通じて地域が元気になるような活動をすすめていきます。

介護事業所の枠を超えた活動は、職員にとって広い視野を持つことにつながり、経験を通じて自信と大きなステップアップになります。そしてより良いサービス提供につながると思います。今後は老人会への出張講座も検討中です。職員自らが外に目を向けて動くことが大切だと感じています。

12月は、介護予防運動指導員による「リズムに合わせて運動しましょう♪」と看護師による健康相談「血圧と血管年齢」です。



ほのぼの

ほのぼのは、介護保険法に基づき、要支援1.2と認定された方や基本チェックリスト該当者を対象にした通所型サービスです。住み慣れた地域で社会とのつながりを大切にしながら、現在の生活を維持できるようにフレイル予防、体力・筋力の維持・向上のための活動をおこなっています。

～今年度は、「心も体も！いつまでも若々しく！」をモットーに活動をしています。～

介護予防運動や脳トレに挑戦♪

午前中はみっちりストレッチや運動に励んでいます。少し汗ばお程に真剣に取り組む日もあれば、ボランティアさん担当の歌体操で楽しい気分を身体を動かす日もあります。



また、身体だけではなく頭の体操として脳トレに挑戦！個人で考えるだけではなく、皆で会話をしながら楽しく取り組めるような雰囲気作りを心がけています。最近は答えがでるのが早くなってこられています。また、利用者から「運動を続けて、腰が伸びて歩きやすくなった」と言う声も聞かれ、笑顔がみられています。



自分達でできることは自分達で

私達は、自立支援アプローチとして過剰な援助はしないよう心掛けています。利用者が日常生活でしている台拭きや下膳、食器洗い・拭き、調理や裁縫など、積極的にしていただいています。とても器用に手際よくこなされている姿はさすがです♪



今までできていたことができなくなってくることの寂しさより、できることを自信として持ち続けられることを大切に支援しています。

楽しく社会参加のために

社会参加の機会が低下するとフレイルの最初の入り口になりやすいことが分かってきたそうです。いつもわいわいがやがやとおしゃべりを楽しんでおられる利用者の皆様をみていると、何より予防になっているなあと感じます。利用者同士だけでなく、地域のボランティアさんが一緒に活動しているのもほのぼのの特徴です。職員・ボランティアさん・利用者、色々な人の交流を図りながら、いつも賑やかに活動しています。



月に1回程度、法人内のお仕事をお手伝いする社会活動の時間を設けています。現在は、封筒の切手貼りや使用済みの切手収集をしています。今後は新たに新聞紙によるエコバック作りに挑戦するなど、地域の活性化運動にも取り組む予定です。



あったかルーム

いつまでもイキイキしていきたい！輝きたい！
65歳以上のシニアの方対象の宅老所です。



あったかルームは、人と人・地域をつなぐ温かく居心地の良い場所です。住み馴れた場所で安心して、いくつになっても楽しみながらくらしを彩ることができるようお手伝いさせていただきます。



新しい年のスタートも活動的に！

カードゲーム、ボードゲームは脳の活性化だけではなく、参加者同士のコミュニケーションの場にもなります。百人一首や花札のほか、トランプやオセロもします。初めての遊びに触れ、すぐにルールを覚えて何回も楽しむ方もいます。

たくさんの仲間と同じ時間を過ごす事で、閉じこもり防止にもなり、2024年も良いスタートをきりたいと思います。

楽しみながらの運動で体力維持に取り組んでいます！

簡単で“無理なく”“気軽に”参加できる「風船バレー」や「ボール体操」の他、外部講師を招き「座ってできるストレッチ」「音楽リトミック」「ほぐし体操」などにも挑戦しています。

風船バレーでは、風船が思いもよらない方向に飛ぶので「そっちいった」「おねがい」と声をかけ合う姿が見られます。



お出かけ散策

桜、紫陽花、薔薇、紅葉といった季節ごとの景色を楽しむために、年に数回お出かけをします。景色を眺めるだけでなく、花の香りや季節の変化を感じることができます。皆さんおしゃれを楽しんだり、外でのお食事也大変喜んでおられます。今年は庄堺公園の薔薇園へ行きました。薔薇をバックにおしゃべりする方、薔薇を観察する方、皆さん思い思いに自由に過ごされている姿は、とても素敵です。



月に一度のあったか講座

外部講師を招き、製作・運動・調理など多彩にチャレンジしています。可愛い作品が完成すると「孫が来た時にあげようかな」など派生する喜びも楽しんでおられます。外部講師から単に学び・楽しむだけでなく、趣味の幅も広がります。また参加者や職員以外の方との交流は、新しい社会のつながりにもなります。



フレイル予防教室受講

フレイルとは「加齢によって心身が老い衰え、社会とのつながりが減少した状態」のことを指します。予防教室では、日々の生活を振り返り、今後の生活の改善への気づきとなっています。「家族に塩分が心配で話をしたわ」など、食事についてご家族と話し合われた方もおられます。

ぽぽ相談室

障害児者の方の特定相談、障害児相談以外に私たちが、日々の相談からお聞きする「不安」や「知りたいこと」にお応えしたいと様々なテーマをきめて『おはなししませんかい』の企画をしています。

例えば、「この子の将来って?」「ダウン症児の子育て交流会」を開催したり。

18歳を迎え社会で頑張る青年たちの余暇活動の機会として『みんなのつどい』と称してバーベキューや「ボッチャを楽しもう!」などを開催しています。また、参加者から「定期的にみんなとニュースポーツを楽しめる機会を!」という声があがり、新たに『スポーツの日』の実施企画をしています。障害児者の方の普段の暮らしの中の小さな願いや思いの声を聴き知ることが、私たちの気づきや学びとなっています。



法人研修



10月21日(土) NP0 ぽぽハウス法人研修を行いました

今年度の研修として第1部では、BCPの一環である「感染症防止対応」に関する座学と実技をしました。第2部では利用者の立場となり、自身の行動を振り返り心温まる福祉サービスを提供するための①車いす体験 ②高齢者体験(疑似体験) ③人による価値観の違いを知り、自分に問いかける手がかりを見つけるカードゲーム形式のCRUE CARDを行いました。

今回の研修を通じて、職員自身が「何を考え行動に移さなければならないか」を自分自身に問いかける機会になったと思います。



避難訓練

11月8日(水) 避難訓練を行いました

「火事です!慌てずに安全に避難をお願いします!」と緊張感の中、火災発生を想定しての火災・通報・消火訓練を行いました。災害を身近に意識していただけるように、車いすの方や普段静養を希望されている方にもお声掛けをして、14名の利用者と平田地区長ほか地域の方にもご参加いただきました。消火器による消火訓練では、初期消火の重要性を学びました。

消防士さんより「何回も繰り返して訓練を続けることで、万が一への備えになります」とお話してくださいました。別途、避難時の利用者の安全な移動手段研修を消防署で受講し、参加職員から他の職員に伝達研修を行い、すべての職員が対応できるように繋げていきます。



はばたき

仲間と協力し合っているいろいろな体験を積み重ね、地域社会の一員としての自覚や、人や社会とつながるために必要な力を育みます。

はばたき夏祭りでの世代交流

「ゲームは何にしようかな?」「景品は何がいいかな?」と相手のことを思いやり、友達と一緒に考えて作りました。

当日、ゲーム屋さんや景品は年少の友達にも、おじいちゃんおばあちゃん達にも大好評で笑顔が広がりました。

異年齢間のふれあいの中で、お互いを支え合い、社会から受け入れられているという信頼関係を積むことにより、社会へはばたく貴重な体験になっています。



食農体験

畑のボランティアさんが、作業の手順を教えてください、子ども達は真剣に耳を傾けます。

① 畑を耕し②苗を植え③水をやり④収穫するその過程の中で、自然に触れ収穫の喜びを味わうことができます。子ども達の成長を見守るたくさんの人々に囲まれ、感謝の気持ちを持ち、豊かに成長することができます。

畑での学びを活かして、中庭でもプランターで野菜や花を育てています。季節の花は、人々の交流の場にもなっています。



自立した生活を目指して



掃除、買い物、弁当箱洗い、タオル干し等の身近な生活・体験を通して、自分自身が生活する力を身につけています。

タオル干しでは、高齢デイサービスで使用しているタオルを、おじいちゃん・おばあちゃん達と作業を分担したり、協力して取り組んでいます。



誕生日会の司会や、朝の会、帰りの会のリーダーの役割を自分達で決めて進めています。その過程の中で、お互いを認めたり許し合ったりするなど、社会生活に必要な基本的な力を身につけ、仲間の一員としての自信を持つことが出来ます。



きらめき

● 放課後等デイサービス

幅広い年齢層の利用者の関わりを職員が仲介することで、友だち同士や年長者として主体的に活動に関わる事ができる環境を提供し、自己肯定感や個の成長を育ていける支援を行います。また、コロナ禍で地域との交流の機会が激減していましたが、今後は学区内に限らず様々な交流の場面に積極的に参加していきます。

● 児童発達支援

基本的生活習慣を身に付け、情緒の安定を図り意欲的な生活が送れるように、家庭と連携し生活リズム獲得と写真やイラスト・スケジュール提示等により先の見通しを持った活動へ参加を促すことで、一人ひとりの支援目標に沿った受け入れやすい支援を行います。



始まりの会

子ども達が主体となり、皆の前に出て司会をすることで、役割を果たし、自信を身につけます。



僕がする

いらっしやいませ～

買い物、お店屋さんごっこ

職員、店員さんに教えてもらいながら、買い物をした経験を、子ども達が『お店屋さんごっこ』で店員となり、お友達に教えてあげる事で、自信につながります。



粘土をこねこねこうかな～?

こね+こね

粘土の触感を楽しみながら、道具や手指を使う機能の成長につながります。



お祭り

お祭りなど地域のイベントに参加し、子ども達が様々な人と交流する機会を持っています。

地域のお祭りへの参加や、街かどアート展の体験型イベント「こね+こね」では、普段では見られない子どもたちの生き生きとした表情が見られました。

ぽぽハウスってどんなところ？

- ・未就学児は子どもの個性を大切に、安心・安全に過ごせる環境を整え視覚支援を通じ基本的生活習慣の獲得を目指した支援を行っています。



プラバンで
オリジナルの
ストラップ作り



絵本のお気に入りの場所をうつしています

- ・就学時からは個別支援計画に沿ってスモールステップで確実な個の成長を育む支援を行い、友だちや職員との関わりから、楽しさの意識向上が達成感につながる支援を行っています。

- ・未就学児から高校生までの幅広い年齢層の子ども達と一緒に過ごす事で、お互いを意識しあえる環境です。また、子ども達からの『やりたい』という気持ち、自主性を大切にしていく中で、一人で集中して過ごす様子や、おもちゃを共有しながら個性あふれる想像力を活かせる場所となっています。



ブロック遊びもそれぞれで、毎回色々なものが出来上がります。



- ・これからの生活に活かせるお皿洗い、洗濯干し体験や個別にワークなどにも取り組んでいます。



- ・体幹を使う大型遊具で体を動かしたり、お天気の良い日には近くのお気に入りの公園へ出かけたり、新幹線が好きな子もいるので、新幹線がよく見える公園にも行きます。新幹線が通るたびに喜び子どもたちの姿が見られます。



街かどアート展実行委員会 ～みんなの光～

- 私たちは、障がいのある人から生み出される数々の作品との出逢いの中で、
- ・その魅力や作品が放つ力をより多くの方に知ってほしい。
- ・アートを通して障がいのある人への理解・関心が深まり、差別や偏見の解消につながってほしい。

そんな思いから『街かどアート展』を様々な形で開催しています。

『地域共生社会の実現』を身近に感じられる機会として、

3つの活動の柱(コンセプト)を掲げ活動しています。

3つの活動の柱（コンセプト）

触れるアート

体験型の
イベントを開催

地域住民みんなが
アートを楽しめる

旅するアート

巡回型展示会の
開催

街かどで・気軽に
身近に

結ぶアート

参加希望者を募る為の
広報活動を推進

アート作品の発掘
作品の情報の集約

今年度の活動

旅

まずは見てほしい！知ってほしい！

まんまるひろば(ビバシティ彦根内)、滋賀銀行、彦根学園、滋賀大学、滋賀県立大学での展示・学祭などのイベントに参加。来場者からの温かいメッセージは、制作者やご家族、関係者の励みになっています。

触

触れて体感！交流

土ねんどに触れて頂く体験型イベントを開催。土ねんどの感触・成形の難しさ・絵付けのコツなど、実際に触れて頂く事で作品作りの楽しさや難しさを体感して頂く事ができました。完成した作品は「街かどアート展」でお披露目展示をします。

結

より多くの人とつながりたい！

私たちの活動や思いを知って頂くため、パンフレットを作成し、広報活動にも取り組んでいます。初めて作品(商品)の販売にも取り組み、様々な視点から活動を知って頂く事ができました。



今後は

アート展の継続開催、積極的にイベント等への参加、地域の方にも参加いただける体験型イベントの開催など、障がいの有無に関わらず、アートを一つのきっかけとして誰もがつながれる機会を提供していきます。広報活動(SNSでの発信等)の強化やアート作品の発掘にも力を入れ「街かどアート展」が“交流の場”“出逢いの場”となるような活動を続けていきます。



『こね+こね』
(Connect + Connect)



未来ファンド
おうみ この事業は
淡海ネットワークセンターの
未来ファンドおうみ
「びわこ市民活動応援基金」
(地域活性化事業)
の助成を受け実施しています。